

予定通りに進んでいく。現在1次仮置き場にあるがれきは約5万ト。総量に対して40%強の処理は完了している。

女川町は総量で44万4千ト。可燃物6万トは東京都で広域処理することになっており、

8月末までに1万6400トを搬出済み。さらに金属類など約6100トは売却処分し、コンクリート類約25万トは市街地を走る道路整備などの盛り土材と

していく。現在1次仮置き場にあるがれきは約5万ト。総量に対して40%強の処理は完了している。

復興庁では平成26年3月までに、災害がれきの処理を終えることを目標にしている。県内のがれきの1次仮置き場は最大318カ所設置されたが処理が進んだことで、現在は2

16カ所に減少。順調に進んでいる一方で、最大の被災地である石巻市では排出量が膨大で、自治体単独での処理では復興にさらなる遅れが生じてしまふ。引き続き、国や県とともに懸念される放射性物質の安全性を示し、広域処理への協力を求めていく必要がある。

「生きる希望」大きな開き

在宅被災世帯
健康生活調査

外出頻度などに関連

石巻医療圏健康・生活復興協議会（武藤真祐代表）は、4～8月に石巻市内の在宅被災世帯を対象に行った戸別訪問聞き取り活動の実績をまとめ、先日に同市水明北の祐コミュニティホールで関係者への報告会を開いた。被災により「生きる希望がない」と答えた人の割合は、地区によって5倍近い開きがあったほか、独居や外出・運動の頻度、頼れる人がいないと答えた人に開きがみられた。

・大街道、山下、石巻門脇、湊、渡波・荻浜地区など5441世帯を訪問。在宅3081世帯のうち、2103世帯で聞き取り調査を行い、健康・生活面での専門的なサポートにつなげている。

震災前と比べて収入に変化があった世帯は荻浜で最大の57・1%、山下で最も少ない27・6%。全体平均で37・4%となっており、被災による廃業や解雇になった状況がうかがえた。住家は全体の51%が補修予定がないか、または自己補修を予定している。現在1次仮置き場にあるがれきは約5万ト。総量に対して40%強の処理は完了している。

復興庁では平成26年3月までに、災害がれきの処理を終えることを目標にしている。県内のがれきの1次仮置き場は最大318カ所設置されたが処理が進んだことで、現在は2

16カ所に減少。順調に進んでいる一方で、最大の被災地である石巻市では排出量が膨大で、自治体単独での処理では復興にさらなる遅れが生じてしまふ。引き続き、国や県とともに懸念される放射性物質の安全性を示し、広域処理への協力を求めていく必要がある。

また委員からは湊地区での住民説明会に市職員がいなかったことを指摘。市は「反省しており、今後は力を入

付託された23年度決算や24年度一般会計補正予算など7件を原案通り可決した。

震災復興計画で非可住地域となる産業ゾーンに対し、市は「区域

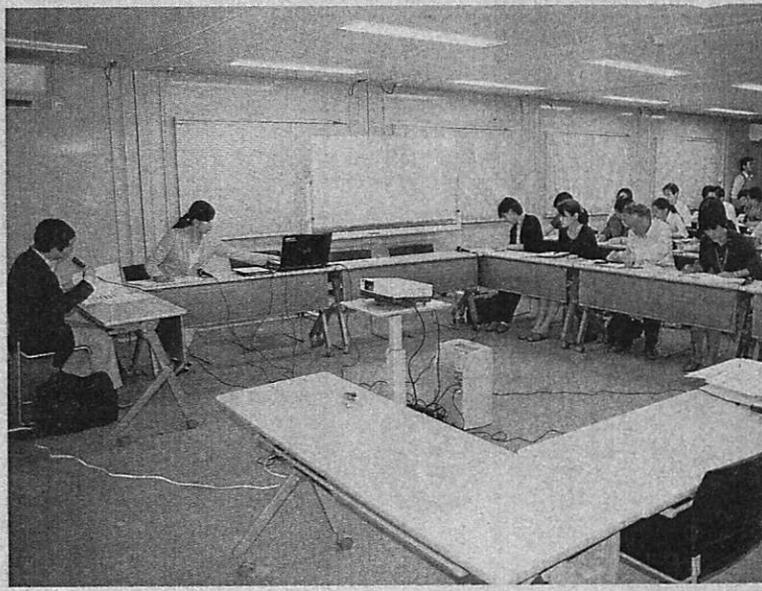
て産業ゾーンの活用方法を検討したい」と答弁した。

額1025億8400万円。復興交付金事業や被災事業者支援が主な補正の内容で、集団移転費には移転促進区域内の復興まちづくり土地利用基本計画策定業務委託料も盛り込ま

東海林内科胃腸科
石巻市門脇字二番谷地13-562 ☎96-2823

日本消化器内視鏡学会専門医
●平日/AM9:00~PM0:00
PM2:00~PM6:00
●土曜/AM9:00~PM0:30
木曜午後・日・祭日休み

石巻技術高等専門学校
東海林内科胃腸科
日産サニ
45号線
1108号線へ
コジマデンキ
至山台
至市内



石ま

が高かった。石巻・門脇では1週間の外出が2回以下の割合が57・1%（全体26%）、こころの健康状態テストによる「要注意」が16・9%（同10・5%）、「生きる希望がないと思うことがある」が11・7%（同

7%）でいずれも最大。「震災後は近所付き合いがなくなった」などの理由が背景にあるようだ。全体の集計で「頼れる人がいない」と答

報告 健康 政治 人が

76 知っ得 石巻弁

シワツピリ

「オライの 爺つあん シワツピリだ」
ケチ、儉約家のことを石巻弁では、シワツピリと言います。スワツピリとも発音されます。略して、ピリだけでもケチの意味。語源は江戸語の「しわい」。ピリは、強調の接尾語です。
さらに、シピタレという語もケチの意味。標準語の「しみつたれ」が訛ったもの。以前取り上げたマデという語も同意。強調すると、マデカスでしたね。

ます。これは、いう意味の、語が名詞化してという儉約家ののです。
「コミジ」といいます。江戸らしい。昭和「巻弁」には「めだ しんし」という例文が掲げられています。ケチとい

※毎月第1回は10月1日、第2回は毎月第2から10分間、放送中。